



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月30日

上場会社名 株式会社マースグループホールディングス  
コード番号 6419 URL <https://www.mars-ghd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高橋 丈治

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,349	131.3	5,826	575.4	6,308	426.8	4,356	427.9
2023年3月期第2四半期	7,500	9.6	862	47.3	1,197	9.5	825	45.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 6,486百万円 (338.4%) 2023年3月期第2四半期 1,479百万円 (9.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	260.69	259.34
2023年3月期第2四半期	49.61	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	76,234	65,380	85.7	3,722.10
2023年3月期	63,922	56,307	88.1	3,429.37

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 65,365百万円 2023年3月期 56,307百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		35.00		35.00	70.00
2024年3月期		60.00			
2024年3月期(予想)				45.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	57.3	9,300	125.4	10,000	111.4	6,600	109.9	379.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	22,720,000 株	2023年3月期	22,720,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	5,158,504 株	2023年3月期	6,300,865 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	16,710,353 株	2023年3月期2Q	16,632,836 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられ、行動制限が解除されたことにより、個人消費や設備投資が改善し経済活動は正常化に向かいました。また、円安や海外からの入国制限の解除を背景に訪日外国人が増加し、インバウンド需要も急速に回復してきました。その一方で、国際情勢に起因する世界的な物価上昇や原材料価格の高騰、急速な円安等で国内物価は上昇傾向にあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループはアミューズメント関連事業、自動認識システム関連事業、ホテル・レストラン関連事業の各事業を通じてお客様の「満足」を勝ち取るために新たな付加価値の追求をしてまいりました。また、変化する市場環境に柔軟に対応するため、各事業会社の役割や責任の明確化、意思決定の迅速化を推し進めるとともに、人づくりや組織づくりの再構築を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高173億49百万円（前年同四半期比131.3%増）、営業利益58億26百万円（同575.4%増）、経常利益63億8百万円（同426.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益43億56百万円（同427.9%増）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

#### [アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主な販売先であるパチンコ業界は、レジャーの多様化や少子高齢化による遊技人口の減少により業績の低迷した中小規模パチンコホールの閉店・廃業が増加し厳しい経営環境が続く一方で、大手企業による新規出店やM&A等による業界再編等が進みました。こうした中、昨年11月にスマートパチスロ、本年4月にスマートパチンコがリリースされたことを受け、遊技客数は回復傾向にあり、長らく停滞していた周辺設備の更新需要も高まってきました。年末に向けて新規出店や大型改装も予定されており、スマート遊技機（スマートパチンコ、スマートパチスロ）を中心とした周辺設備の投資が今後も継続するものと見込まれます。

このような状況の中、当社グループではスマート遊技機専用ユニット「スマートユニット」を中心に、少人数でホール運営が可能なパーソナルPCシステム（以下「パーソナル」）及び遊技データ等の収集・AI分析が可能な「マースユニコン」等、豊富なラインナップを武器にトータルシステムでの提案・販売を行ってまいりました。前期から続いていた部材不足については、調達経路の拡大・見直しや生産体制の強化等により改善し、スマートユニットの販売は好調に推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間におけるプリペイドカードシステム（パーソナルやスマートユニットを含む）の売上実績は23店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,491店舗（市場シェア23.6%）となりました。

空気力で紙幣を搬送する業界随一のAir紙幣搬送システム及びハイスペックモデルの立体Air紙幣搬送システムは、セキュリティの強化やホール業務の省力化等の導入効果が高く評価され、新規出店案件や居抜き案件の獲得に繋がりました。また、景品交換業務における省力化や利便性を追求したセルフPOSやクオリティの高い接客が可能なマーススマートウォッチⅢ等、きめ細やかな製品及び付加サービスの提案・販売を行い、商品力のある製品を通じてお客様満足・信頼獲得に努めてまいりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、140億1百万円（前期比221.2%増）、セグメント利益は58億26百万円（同548.1%増）となりました。

#### [自動認識システム関連事業]

自動認識システムは、RFID、バーコード、X線検査装置等を媒体として各種データを自動的に取り込み・認識ができるため、自動化・省人化及びDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現には欠かせないキーデバイスの一つとして、需要が高まっております。その一方で、中国経済の減速を受けて顧客の投資意欲は低迷してきました。

当社グループでは特にFA市場、物流市場、アミューズメント市場を中心に提案販売活動を行ってまいりました。目視による検査判別を低コストで自動化した画像処理システム「MoMaVi（モマビ）」やバーコード読取・OCR・有無検査の機能を搭載した固定式コード&ビジョンシステム「MCV-F1000」等の新製品をリリースし、製造・物流DXを支援する製品・ソリューションの拡販に努めてまいりました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、22億98百万円（前期比2.0%減）、セグメント利益は1億63百万円（同43.0%減）となりました。

## [ホテル・レストラン関連事業]

ホテル業界ならびに外食業界は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による行動制限解除や円安の影響等により、国内旅行者やインバウンド需要が急速に回復し、全体の業況はコロナ禍前の水準に戻りつつあります。しかしながら、人手不足や外国人観光客の受入環境の整備、観光客の過度な増加により地元住民の生活や自然環境に悪影響を及ぼすオーバーツーリズム等の対策が喫緊の課題となっております。

このような状況の中、「マースガーデンホテル博多」及び「マースガーデンウッド御殿場」では、会員制度であるマースガーデンクラブの入会促進やSNSを活用した集客、ダイナミックプライシングによる適切な価格施策を行い、収益向上に取り組んでまいりました。「マースガーデンウッド御殿場」では、四季折々の庭園を望みながら本格イタリアン料理を楽しめるレストラン『フェニーチェ』を3年半ぶりにリニューアルオープンいたしました。

また、レストラン事業では、東京銀座エリアの「銀明翠GINZA」「銀座松月」を中心に質の良いおもてなしと料理で付加価値を高めブランド力の向上に努めてまいりました。

この結果、ホテル・レストラン関連事業の売上高は、10億49百万円（前期比31.8%増）、セグメント損失は49百万円（前期は1億57百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は762億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して123億11百万円増加いたしました。

流動資産は440億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して89億45百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、現金及び預金が51億80百万円増加し278億81百万円、商品及び製品が19億11百万円増加し40億95百万円、原材料及び貯蔵品が14億45百万円増加し46億92百万円となりました。

固定資産は321億66百万円となり、前連結会計年度末と比較して33億66百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、投資有価証券が31億86百万円増加し146億57百万円となりました。

流動負債は85億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して30億71百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、支払手形及び買掛金が16億65百万円増加し45億23百万円、未払法人税等が12億24百万円増加し22億76百万円となりました。

固定負債は23億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億67百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、退職給付に係る負債が12百万円増加し5億98百万円となりました。

純資産は653億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して90億73百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が37億81百万円増加し549億26百万円、自己株式が23億6百万円減少し△103億48百万円、その他有価証券評価差額金が21億8百万円増加し37億50百万円となりました。

自己資本比率は85.7%となり、前連結会計年度末と比較して2.4ポイント減少いたしました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は278億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して51億80百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は38億13百万円の収入（前年同四半期は8億99百万円の支出）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益63億89百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は5億6百万円の支出（前年同四半期は17億26百万円の支出）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出5億67百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は18億49百万円の収入（前年同四半期は12億36百万円の支出）となりました。主な要因は、自己株式の売却による収入24億円等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年9月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,700,571	27,881,359
受取手形及び売掛金	4,430,108	4,637,975
リース債権及びリース投資資産	412,793	412,470
有価証券	349,965	350,070
商品及び製品	2,183,557	4,095,514
仕掛品	172,942	309,716
原材料及び貯蔵品	3,247,645	4,692,692
その他	1,681,447	1,749,843
貸倒引当金	△56,412	△61,708
流動資産合計	35,122,618	44,067,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,226,755	5,132,094
土地	9,628,287	9,628,287
その他(純額)	309,242	466,336
有形固定資産合計	15,164,285	15,226,718
無形固定資産		
投資その他の資産	306,158	300,626
投資有価証券	11,471,098	14,657,496
その他	2,350,102	2,468,682
貸倒引当金	△491,481	△487,255
投資その他の資産合計	13,329,720	16,638,923
固定資産合計	28,800,163	32,166,268
資産合計	63,922,782	76,234,202
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,858,476	4,523,893
リース債務	268,902	249,838
未払法人税等	1,052,319	2,276,482
賞与引当金	342,507	352,902
その他	944,796	1,135,023
流動負債合計	5,467,002	8,538,140
固定負債		
リース債務	294,372	271,157
役員退職慰労引当金	177,990	185,190
退職給付に係る負債	585,916	598,611
資産除去債務	61,447	61,680
その他	1,028,684	1,198,797
固定負債合計	2,148,410	2,315,437
負債合計	7,615,412	10,853,577

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	9,212,309
利益剰余金	51,144,527	54,926,034
自己株式	△12,655,002	△10,348,775
株主資本合計	54,795,454	61,723,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,641,643	3,750,485
退職給付に係る調整累計額	△129,727	△108,429
その他の包括利益累計額合計	1,511,915	3,642,055
新株予約権	—	14,899
純資産合計	56,307,370	65,380,624
負債純資産合計	63,922,782	76,234,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,500,162	17,349,633
売上原価	3,196,899	7,642,103
売上総利益	4,303,263	9,707,529
販売費及び一般管理費	3,440,601	3,880,983
営業利益	862,661	5,826,545
営業外収益		
受取配当金	236,665	392,633
その他	100,463	89,453
営業外収益合計	337,128	482,086
営業外費用		
自己株式取得費用	2,291	—
営業外費用合計	2,291	—
経常利益	1,197,499	6,308,632
特別利益		
固定資産売却益	1,894	—
投資有価証券売却益	—	81,267
特別利益合計	1,894	81,267
特別損失		
土地売却損	3,966	—
特別損失合計	3,966	—
税金等調整前四半期純利益	1,195,427	6,389,900
法人税、住民税及び事業税	354,937	2,211,609
法人税等調整額	15,315	△177,886
法人税等合計	370,253	2,033,723
四半期純利益	825,173	4,356,177
親会社株主に帰属する四半期純利益	825,173	4,356,177



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	825,173	4,356,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	642,353	2,108,842
退職給付に係る調整額	12,041	21,297
その他の包括利益合計	654,394	2,130,140
四半期包括利益	1,479,568	6,486,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,479,568	6,486,317

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,195,427	6,389,900
減価償却費	277,261	282,893
引当金の増減額 (△は減少)	30,985	18,665
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△23,053	12,695
受取利息及び受取配当金	△237,530	△392,848
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	△17,757
固定資産除売却損益 (△は益)	△1,894	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△81,267
土地売却損益 (△は益)	3,966	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△39,574	△207,867
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	76,048	24,281
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,430,535	△3,493,777
営業貸付金の増減額 (△は増加)	49,173	△130,021
仕入債務の増減額 (△は減少)	351,777	1,665,417
リース債務の増減額 (△は減少)	△112,289	△42,278
その他	△352,141	292,737
小計	△212,377	4,320,772
利息及び配当金の受取額	237,530	392,848
法人税等の支払額	△924,497	△900,449
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△899,344</b>	<b>3,813,171</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△548,564	△241,544
有形固定資産の売却による収入	9,629	—
投資有価証券の取得による支出	△1,227,538	△567,910
投資有価証券の売却による収入	—	414,815
その他	39,973	△112,287
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,726,500</b>	<b>△506,927</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△652,305	△113
自己株式の売却による収入	4,814	2,400,555
配当金の支払額	△589,276	△573,860
新株予約権の発行による収入	—	23,125
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,236,767</b>	<b>1,849,706</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	40,980	24,837
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,821,632	5,180,787
現金及び現金同等物の期首残高	26,003,862	22,700,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,182,230	27,881,359

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル・ レストラン 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,358,877	2,345,235	796,049	7,500,162	—	7,500,162
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	287,327	135,318	16,735	439,381	△439,381	—
計	4,646,204	2,480,553	812,785	7,939,543	△439,381	7,500,162
セグメント 利益又は損失 (△)	899,101	287,391	△157,277	1,029,215	△166,553	862,661

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△166,553千円には、セグメント間取引消去5,454千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等、△172,007千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル・ レストラン 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	14,001,485	2,298,862	1,049,285	17,349,633	—	17,349,633
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	294,583	42,070	15,238	351,892	△351,892	—
計	14,296,068	2,340,932	1,064,524	17,701,525	△351,892	17,349,633
セグメント 利益又は損失 (△)	5,826,808	163,944	△49,353	5,941,399	△114,853	5,826,545

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,853千円には、セグメント間取引消去7,111千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等、△121,965千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。